

第4章

和光市の

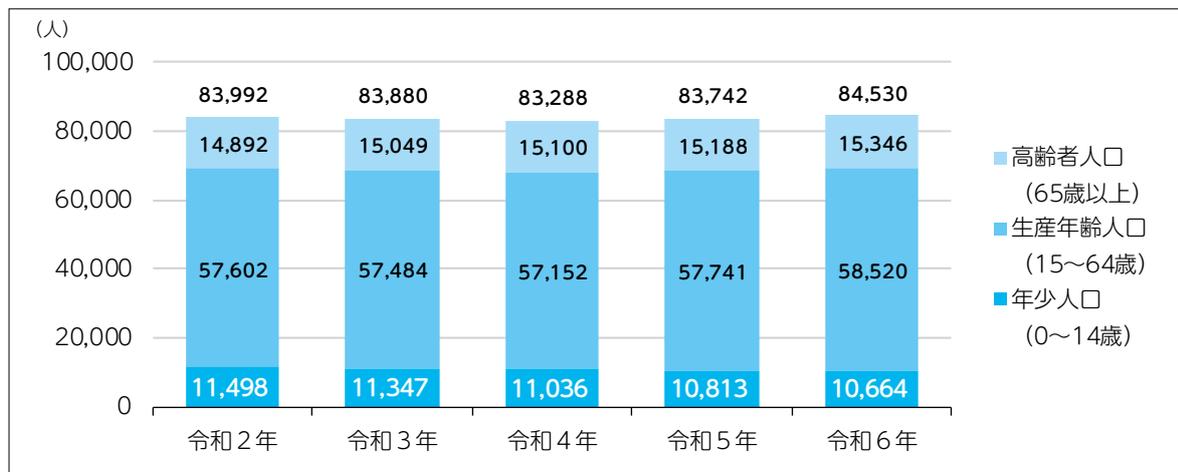
こども・子育て環境の現況

第1節 人口の状況

1. 年齢3区分別人口の状況

令和2年から令和6年までの本市の人口の推移をみると、総人口は増減を繰り返しながら8万4千人前後で推移しています。年齢3区分別人口でみると、年少人口は減少傾向で推移しています。

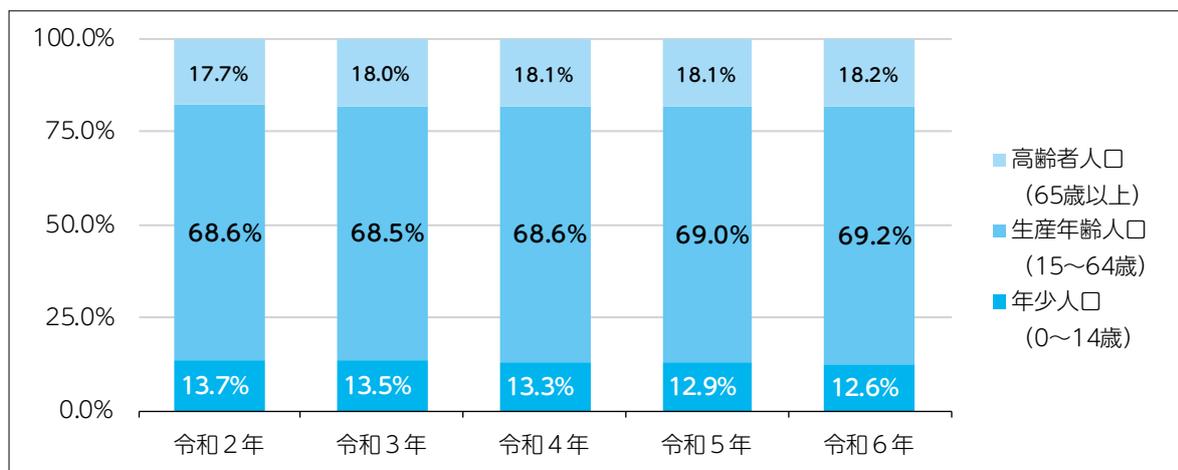
■【実績】年齢3区分別人口■



資料：住民基本台帳（各年4月1日）

また、年齢3区分別人口を本市の総人口に対する割合でみると、15～64歳の生産年齢人口の割合及び65歳以上の高齢者人口の割合が緩やかな増加傾向である一方、0～14歳の年少人口の割合は減少傾向にあり、少子高齢化が進んでいます。

■【実績】年齢3区分別人口割合■

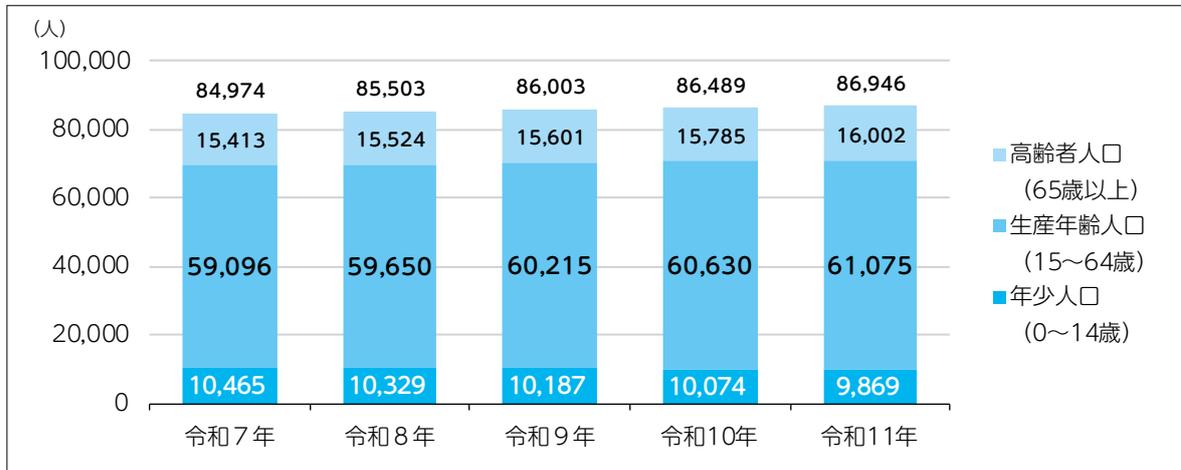


資料：住民基本台帳（各年4月1日）



なお、令和7年から令和11年にかけての推計では、年少人口が減少する一方で、生産年齢人口及び高齢者人口が増加するとみられており、総人口は増加すると推計されています。

■【推計】年齢3区分別人口■

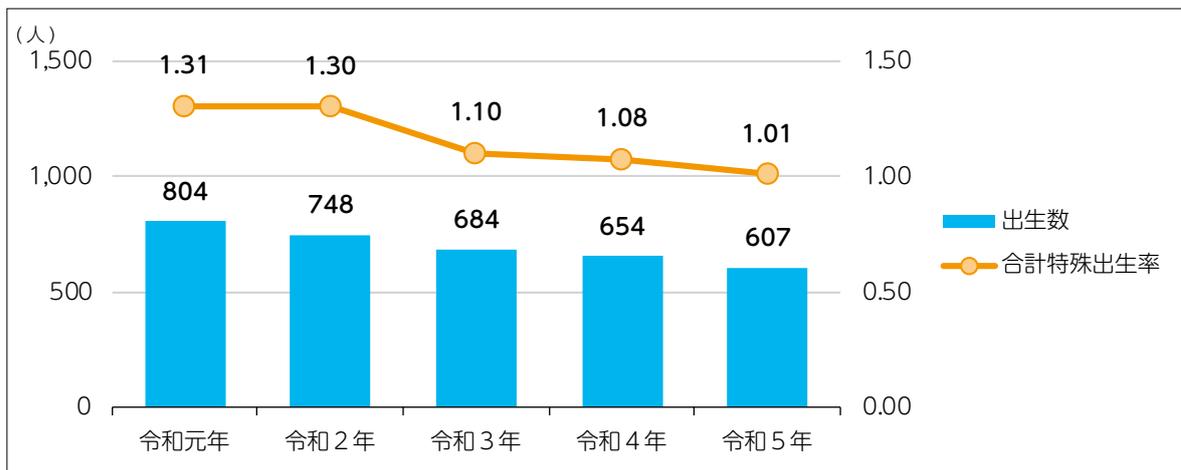


資料：住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計

2. 出生の状況

本市の出生数は令和2年以降、減少傾向で推移しています。また、合計特殊出生率も令和2年以降減少傾向で推移しており、コロナ禍の影響が考えられますが、令和5年時点で回復していません。

■出生数と合計特殊出生率の推移■



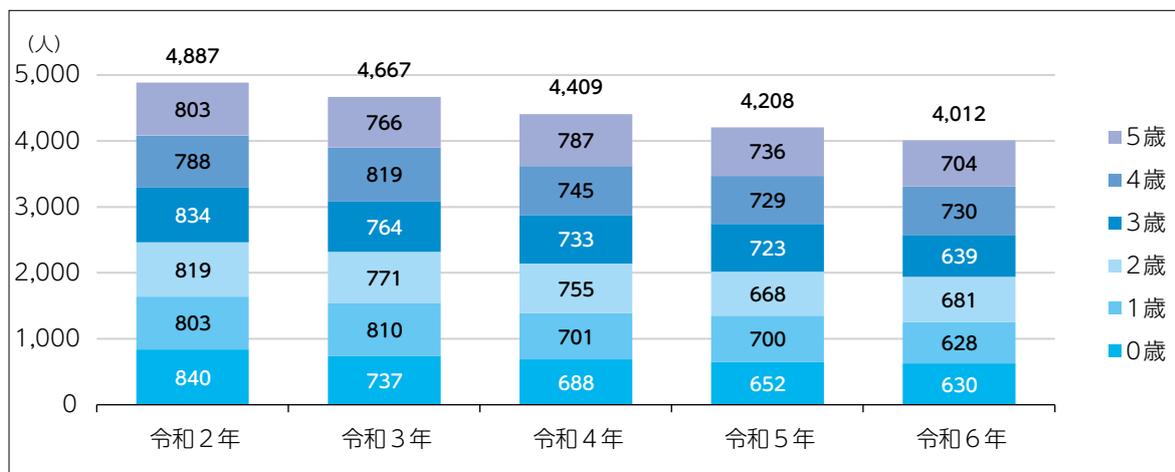
資料：埼玉県「人口動態概況」

3. 就学前児童人口の状況

令和6年4月1日時点の本市の就学前児童人口の推移を見てみると減少傾向が続いており、令和6年4月1日時点で4,012人となっています。年齢別に見ると、特に0歳及び3歳人口の減少率が高くなっており、令和2年と比較して0歳人口が25.0%、3歳人口が23.4%減少しています。

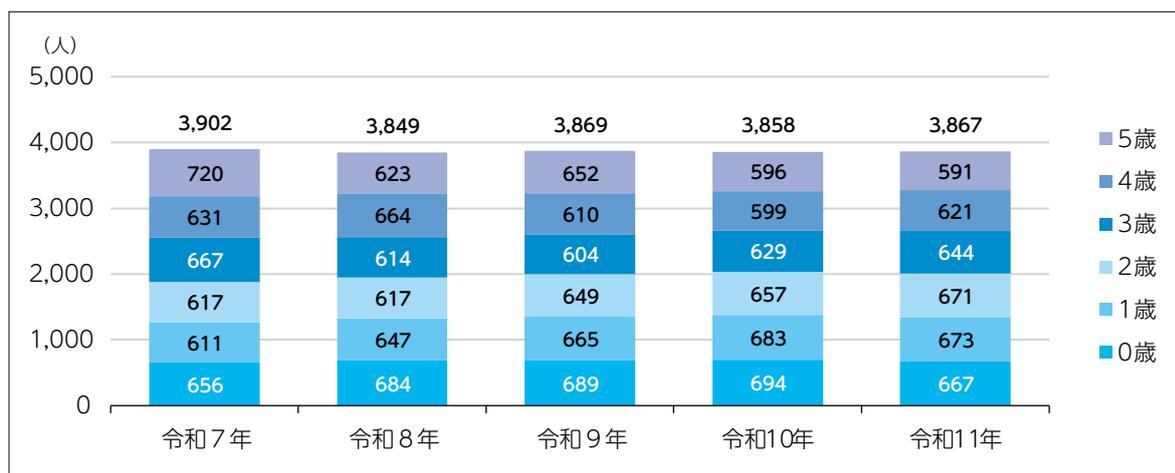
令和7年から令和11年にかけての推計では、大規模な住宅整備等により0歳から2歳人口の一時的な増加が見込まれます。しかしながら、全体的な就学前児童人口は横ばいから緩やかな減少傾向で推移するとみられています。

■【実績】年齢別就学前児童人口■



資料：住民基本台帳（各年4月1日）

■【推計】年齢別就学前児童人口■



資料：住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計

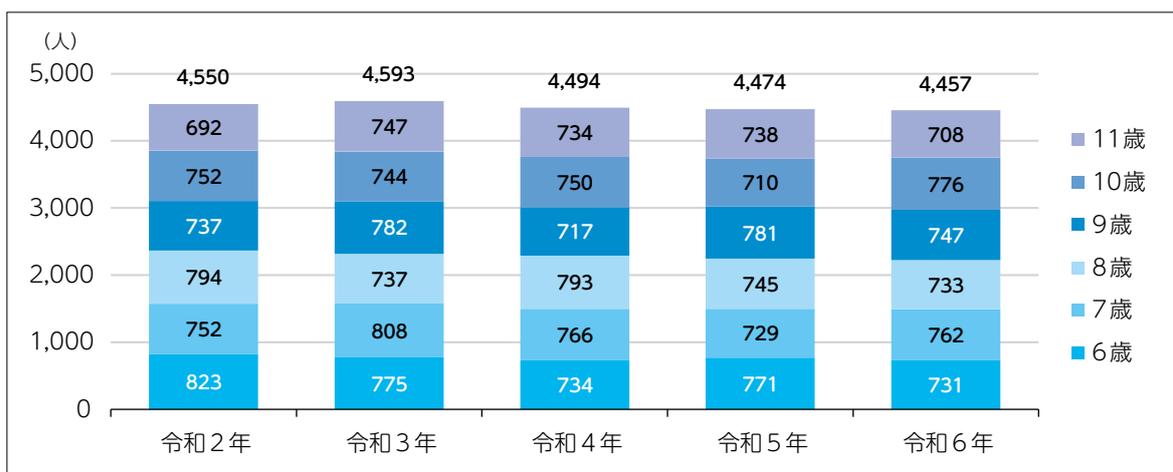


4. 小学生年代人口の状況

令和6年4月1日時点の本市の小学生年代人口の推移を見てみると、令和3年まで増加傾向にあったものの、令和4年から減少に転じており、令和6年4月1日時点で4,457人となっています。年齢別に見ると、6歳及び8歳人口が減少しており、令和2年と比較して6歳人口が11.2%、8歳人口が7.7%減少しています。

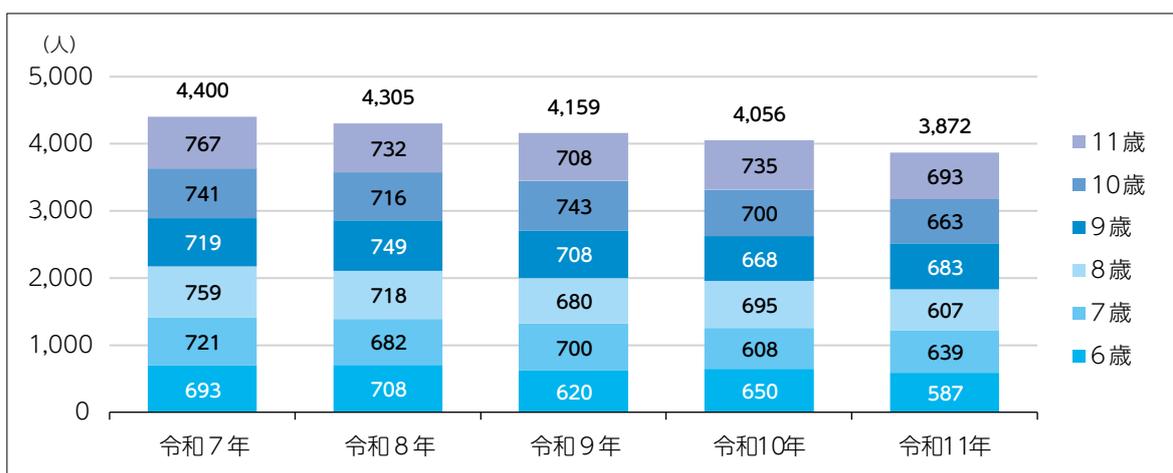
令和7年から令和11年にかけての推計では、全体として減少傾向で推移するとみられています。

■ 【実績】 年齢別小学生年代人口 ■



資料：住民基本台帳（各年4月1日）

■ 【推計】 年齢別小学生年代人口 ■



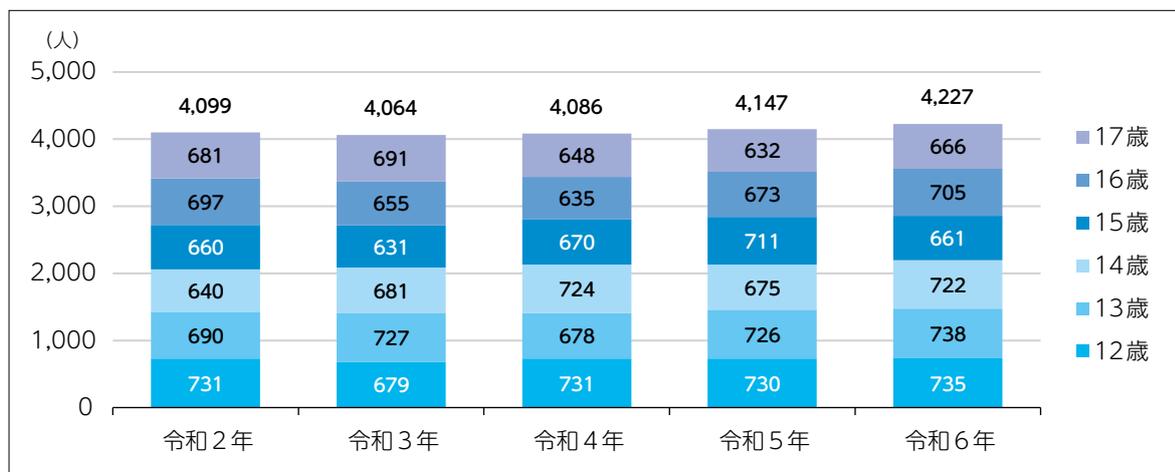
資料：住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計

5. 中高生年代人口の状況

令和6年4月1日時点の本市の中高生年代人口の推移を見てみると、令和3年に減少を記録したものの令和4年以降は増加傾向で推移しており、令和6年4月1日時点で4,227人となっています。年齢別に見ると、令和2年との比較では17歳人口を除く全ての年齢で増加していますが、17歳人口は2.2%減少しています。

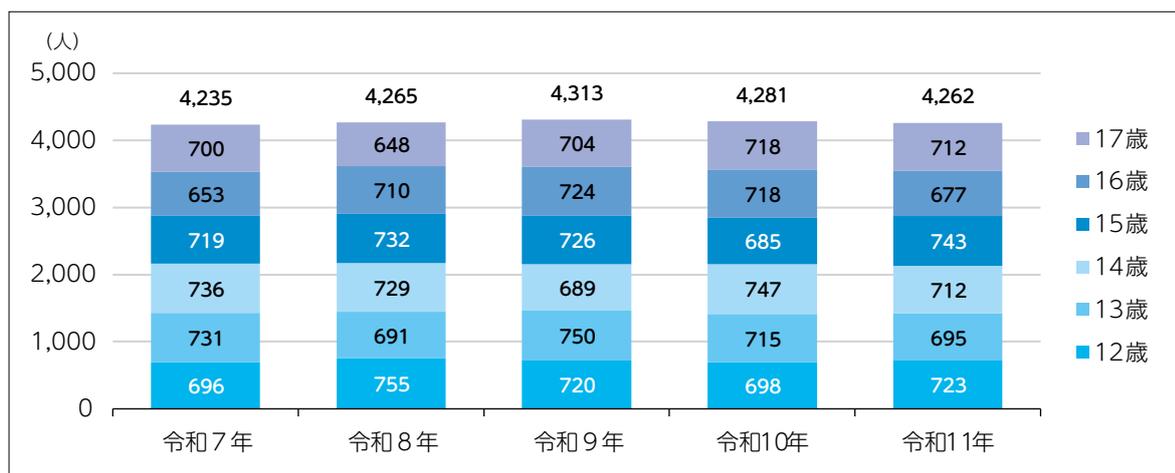
令和7年から令和11年にかけての推計では、中高生人口の合計は令和9年までは緩やかに増加し、令和10年以降は減少するとみられています。

■ 【実績】 年齢別中高生年代人口 ■



資料：住民基本台帳（各年4月1日）

■ 【推計】 年齢別中高生年代人口 ■



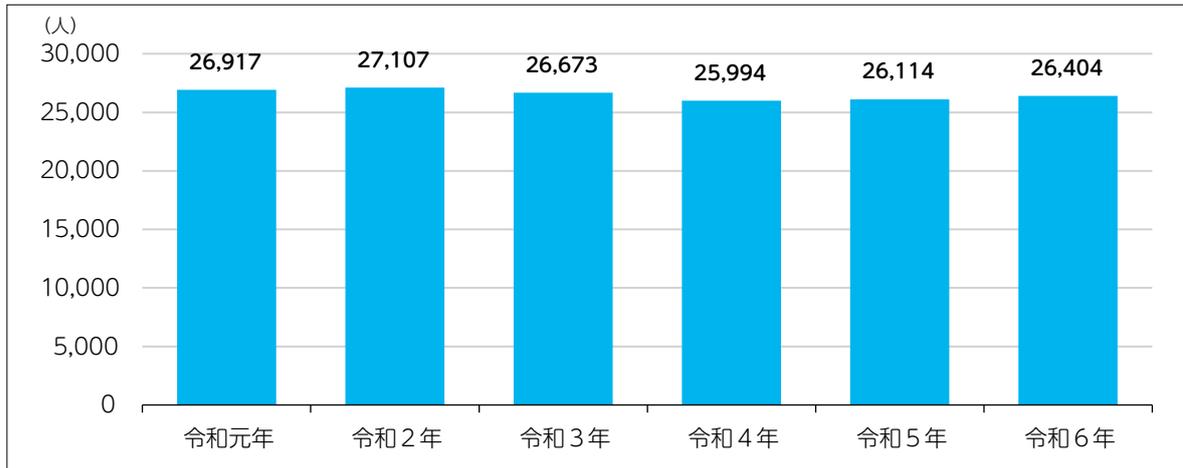
資料：住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計



6. 18～39歳人口の状況

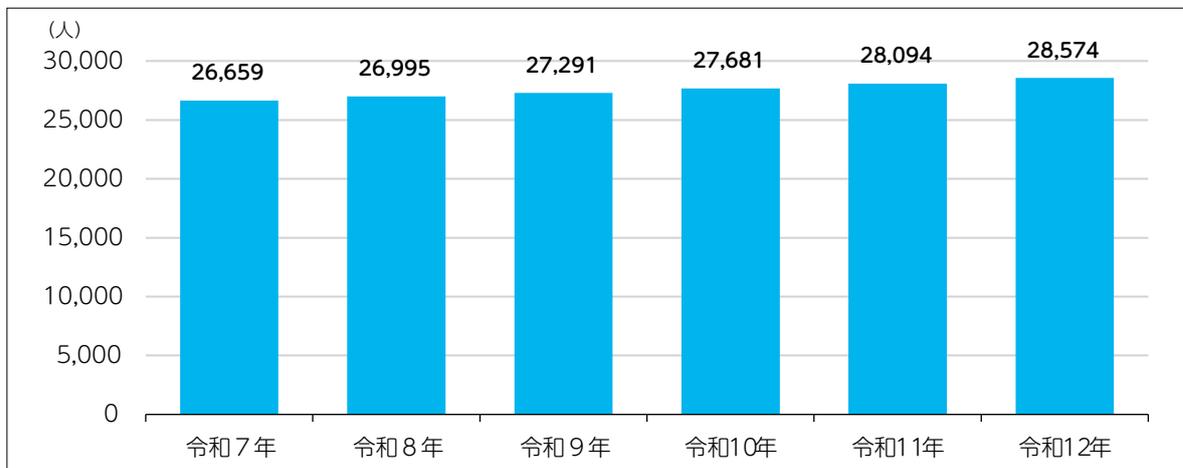
令和6年4月1日時点の本市の18～39歳人口の推移を見ると、令和4年までは減少傾向で推移していましたが、令和5年からやや回復し、令和6年4月1日時点で26,404人となっています。令和7年から令和11年にかけての推計では、緩やかな増加傾向で推移するとみられています。

■【実績】18～39歳人口■



資料：住民基本台帳（各年4月1日）

■【推計】18～39歳人口■



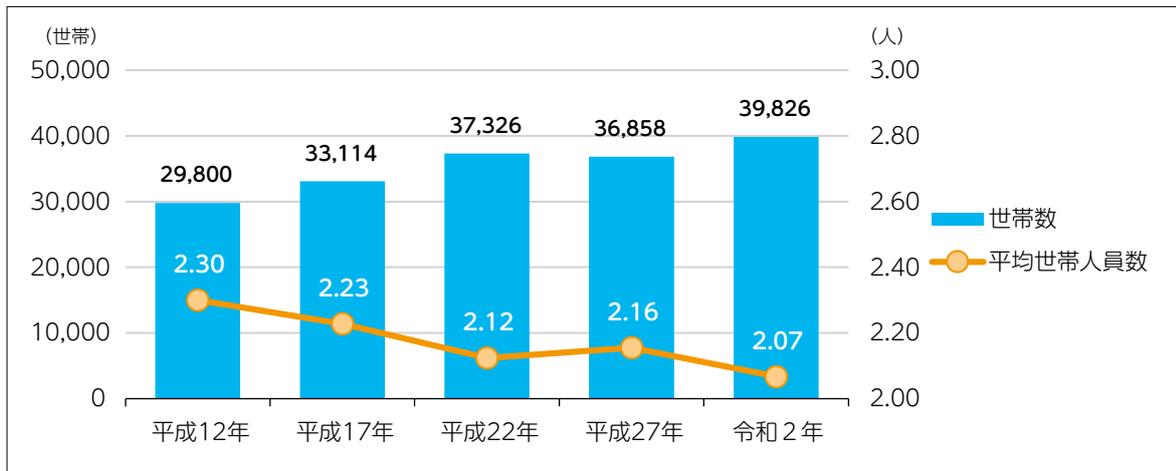
資料：住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計

第2節 子ども・子育て世帯を取り巻く状況

1. 世帯数と平均世帯人員数

本市の世帯数と平均世帯人員数の推移をみると、世帯数は増加傾向で推移している一方、平均世帯人員数は減少傾向にあります。

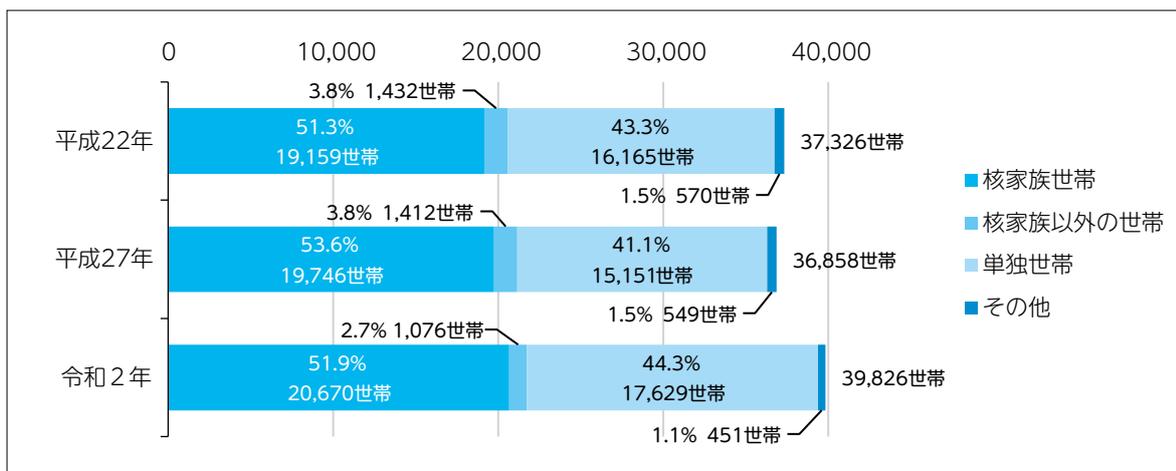
■世帯数・平均世帯人員数の推移■



資料：国勢調査

家族類型別の世帯割合をみると、平成22年から令和2年において核家族世帯割合は概ね50%強で推移しており、単独世帯の割合と足し合わせると、令和2年時点で全体の96.2%を占めています。

■家族類型別世帯割合の状況■



資料：国勢調査

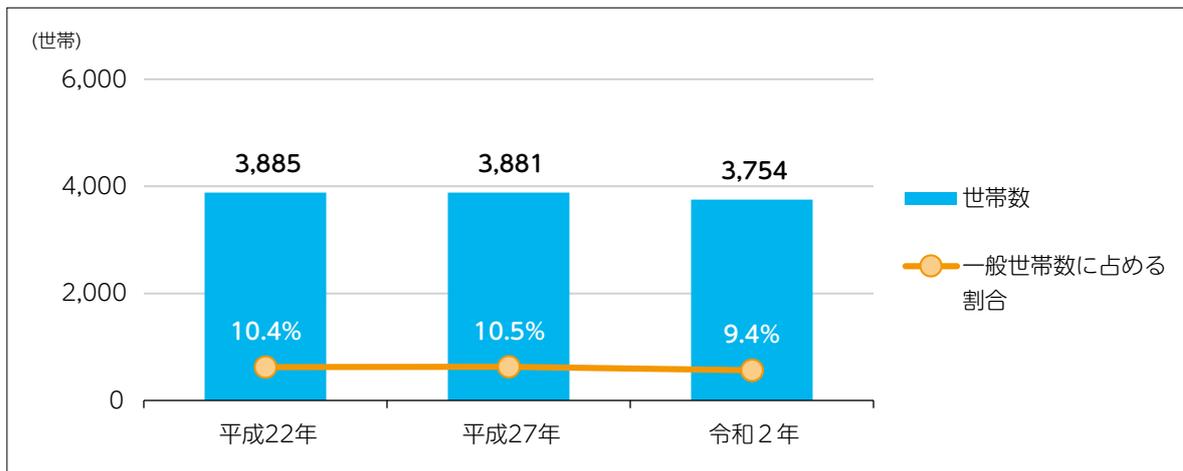


2. 6歳未満の子どもがいる世帯の状況

6歳未満の子どもがいる世帯の数は減少傾向にあります。

本市の一般世帯⁷総数に占める割合についても、令和2年時点では9.4%となっており、平成22年及び平成27年と比較して減少しています。

■ 6歳未満の子どもがいる世帯の推移 ■

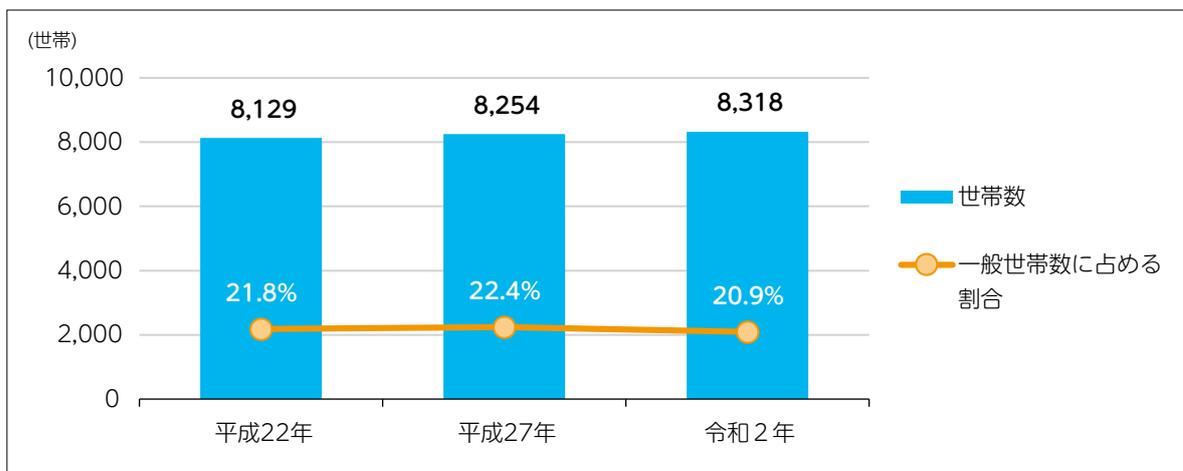


資料：国勢調査

3. 18歳未満の子どもがいる世帯の状況

18歳未満の子どもがいる世帯の数は増加傾向にありますが、本市の一般世帯総数に占める割合で見ると、令和2年時点では20.9%となっており、平成22年及び平成27年と比較して減少しています。

■ 18歳未満の子どもがいる世帯の推移 ■



資料：国勢調査

⁷ 一般世帯：国勢調査では、世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」の2種類に区分している。

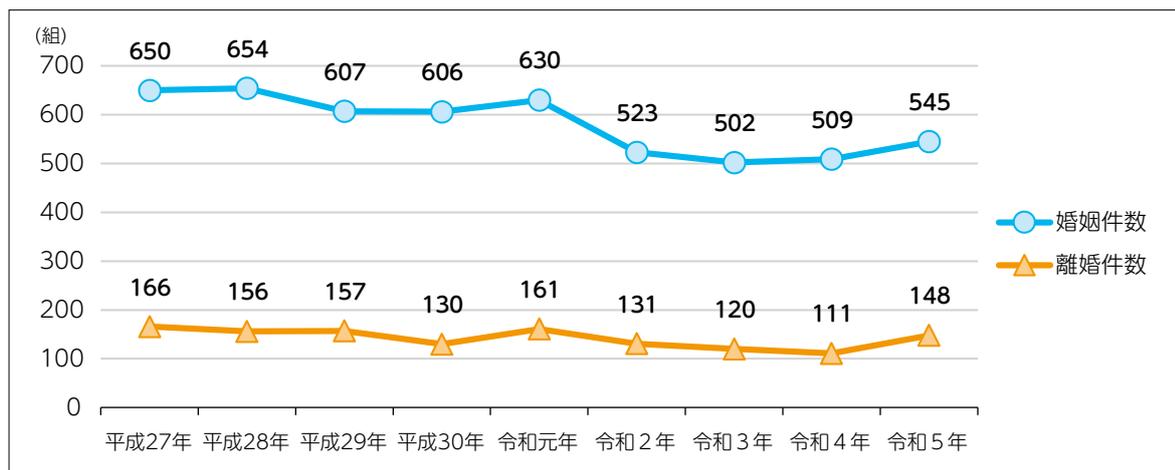
「一般世帯」とは、「施設等の世帯」以外の世帯をいう。「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所等の入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者等から成る世帯をいう。

4. 婚姻・離婚

婚姻数は新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を受け、令和2年から令和3年にかけて大きく減少しましたが、令和4年から回復に転じており、令和5年の婚姻件数は545組となっています。

離婚数は令和2年以降、減少傾向で推移していましたが、令和5年の離婚件数は前年と比較して37組増加し148組となっています。

■婚姻数・離婚数の推移■



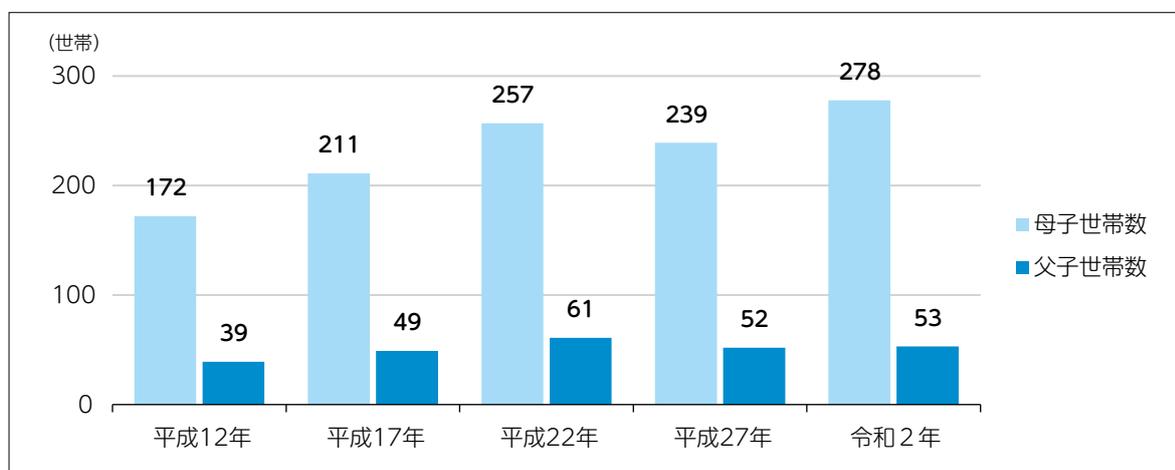
資料：埼玉県「人口動態概況」

5. ひとり親世帯の状況

本市の父子世帯数は令和2年時点で53世帯となっており、平成12年と比較して35.9%増加しています。

また、母子世帯数は平成27年に一時減少しましたが、全体として増加傾向にあり、令和2年時点で278世帯と、平成12年と比較して61.6%増加しています。

■母子世帯数・父子世帯数の推移■



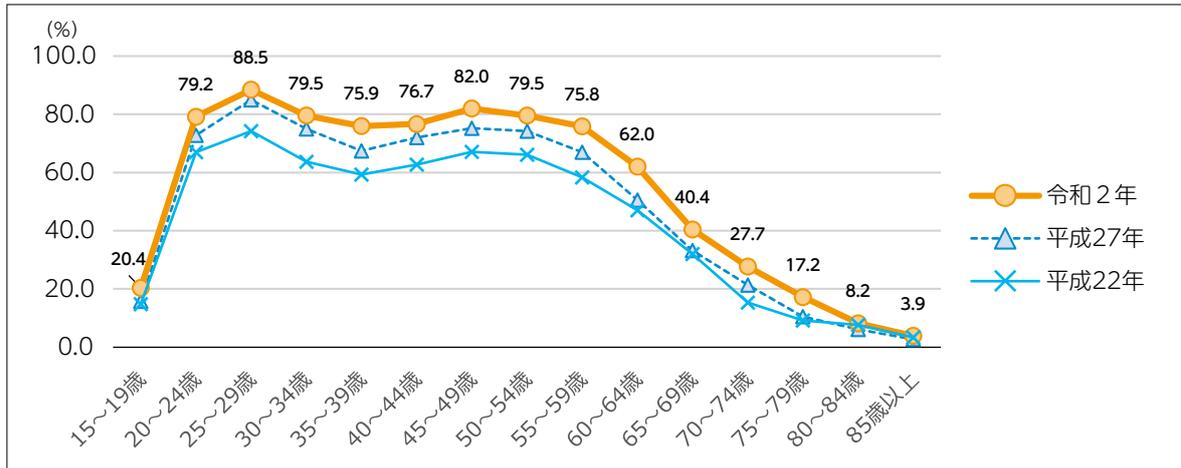
資料：国勢調査



6. 女性の労働の状況

本市の女性の労働力率^{※8}をみると、全体として労働力率の上昇がみられており、令和2年時点において20～59歳で7割を超えています。

■女性の労働力率の状況■

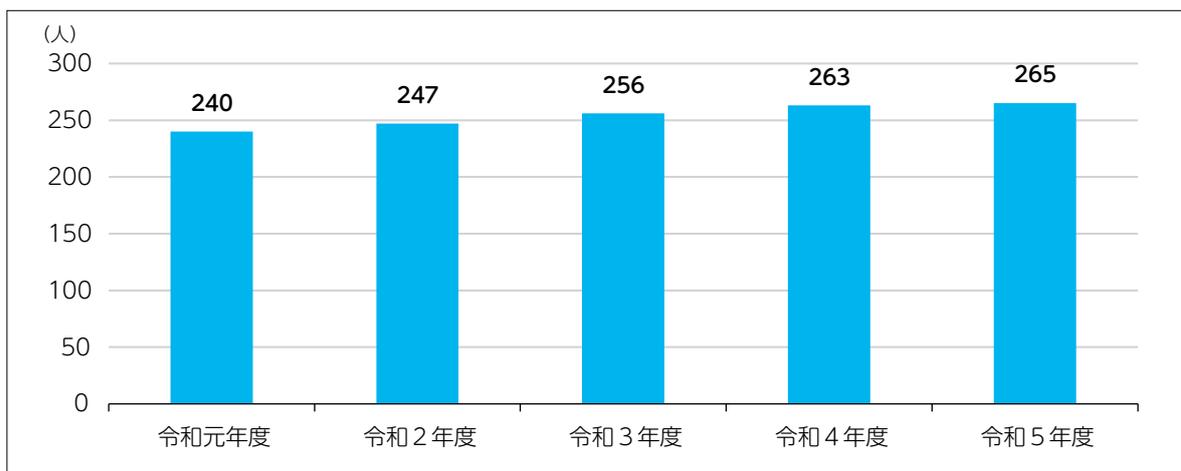


資料：国勢調査

7. 障害児数の推移

障害児数（18歳未満の障害者手帳（身体・療育・精神）所持者）は増加傾向で推移しています。令和5年度末時点では265人となっており、令和元年度時点と比較して25人増加しています。

■障害児数の推移■



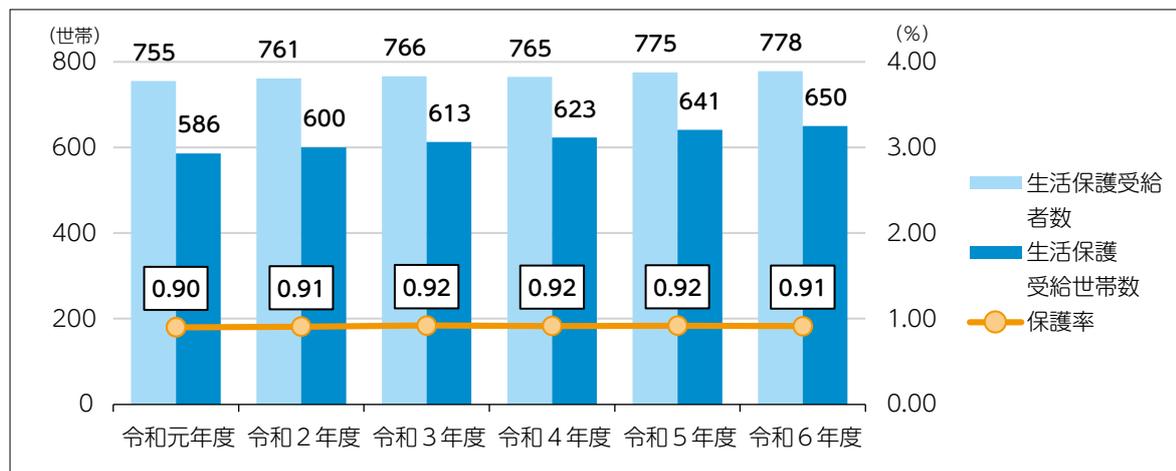
資料：障害福祉課調べ（各年度末時点）

⁸ 労働力率：15歳以上人口に占める労働力人口の割合のことを指し、労働力人口には就業者のほか、収入になる仕事を少しもしなかった人のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ、職業安定所に申し込む等して積極的に仕事を探していた人（完全失業者）を含む。

8. 生活保護の受給状況

生活保護の受給状況は、受給者数・受給世帯数共に増加していますが、本市の総人口に対する生活保護受給者数の割合（保護率）は概ね横ばいで推移しています。

■生活保護世帯数の推移■



資料：生活支援課調べ（各年度末時点、令和6年度は8月末時点）

9. 虐待通報件数

令和2年度から令和3年度にかけて、児童虐待通報件数が大きく増加しました。

コロナ禍における緊急事態宣言下で、外出自粛要請が出されたことにより、保護者の心理的負担が増大し、虐待につながるケースが増えたことが一つの要因と考えられます。新型コロナウイルスの感染拡大が収束するにつれて、児童虐待通報件数は減少の兆しがみられますが、依然としてコロナ禍以前の水準には戻っていません。

市では、要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催し、要保護児童のケース協議やハイリスクケースの情報共有を行っています。令和6年度より開催回数を増やして児童虐待防止と要保護児童の支援を行っています。

■児童虐待通報の推移■

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
身体的虐待	15件	46件	38件	35件	22件
性的虐待	1件	0件	1件	0件	2件
心理的虐待	76件	90件	89件	78件	81件
ネグレクト等	3件	15件	27件	20件	12件
合計	95件	151件	155件	133件	117件

資料：子ども家庭支援課調べ（各年度末時点）



WAKO